

公園編

「養老公園」(岐阜県養老町)



取材協力者
児玉紘三さん(左)と平林 恵さん(右)

今回の公園編は、岐阜県養老町にある「養老公園」を紹介します。養老公園は養老孝子物語¹⁾の名瀑「養老の滝」を中心に、「養老天命反転地」「こどもの国」「養老パークゴルフ場」等の施設を有する、広さ約78.6haの広大な都市公園です。今回は公園の安全管理と体験する芸術作品「養老天命反転地」にスポットを当てて取材しました。

養老公園について聞く

相手：(財)花の都ぎふ花と緑の推進センター

養老公園事務所 次長 児玉紘三さん

Q：公園の概要を教えてください。

A：養老の滝を中心とした養老山麓の自然と芸術・スポーツ施設を備えた東西約1800m、南北約600m、総面積78.6haの県営都市公園です。当公園へは年間約100万人の方にお越しいただいています。

Q：養老公園の中で評判のよいところは？

A：人気が高いのは、「養老の滝」と「養老天命反転地」です。「養老の滝」は養老孝子物語の伝説を秘め、古くから親しまれており、日本の滝百選にも入っています。「養老天命反転地」は、ずい円形にくり抜かれた窪地と風変わりなバビリオンで構成された巨大な芸術作品で、入場された方は摩訶不思議な体感を覚えられます。その他「こどもの国」や「養老パークゴルフ場」「養老ターゴルフ場」「テニスコート」等も人気があり、また、春の桜や秋の紅葉など老若男女を問わず多くの方々に楽しんでいただいています。

Q：公園管理で優先されることは？

A：「こどもの国」には20を超える遊具があり、何よりも「安全管理」を優先しています。設置後10年以上経過し、特に遊具の接続部など(見えない部分)は、通常の点検で

は安全性の確認がきわめて困難であり、現在、精密点検を実施中で土木工学の先生にもアドバイスをいただくなど、安全管理に万全を期して取り組んでいます。

また、皆様に快適にご利用いただけるよう、お互いに公園のルールを守っていただくための注意喚起の際なども、常にお客様の立場に立って言葉づかいなど十分気をつけるよう心掛けています。

Q：公園を通じた地域との交流・ボランティア活動などはありますか？

A：園内の清掃、こどもの国のひょうたん栽培などいろいろあります。去る6月27日には「県公園セーフティボランティア」(遊具の事故防止を目的とした技術系県職員OBによる自発的組織)の人たちにより遊具の点検を実施していただきました。こうしたボランティアの方々には大変感謝しています。

Q：最後に、公園のアピールをお願いします。

A：三つ位あげますと、濃尾平野を見渡せるスケールの大きい自然豊かな公園、滝・孝子伝説など史蹟や景観の豊かな公園、養老天命反転地のような新しい芸術指向を有する公園です。自然、歴史、芸術、スポーツ、こどもの遊び等、さまざまなニーズに応え、楽しんでいただける公園です。皆さんには是非お越しくださいますようお願いしています。

豆知識

1) 養老孝子物語 ある日、年老いた父をいたわる樵(きこり)が薪を採りに山に入ると、苔むした岩間から酒の香りがただよってきた。ふしぎに思ってなめてみると酒の味がするのでその水をひょうたんにためて持ち帰り老父に飲ませると、この上ないよい酒だといっていたそう喜んだという昔話。時の帝、元正天皇が「孝行の徳を天地の神々がおほめになったのであろう。」とおおせられ、奈良の都から行幸になり自ら飲浴され「老を養う霊泉」と元号を養老と改められた。



写真-1 養老の滝



写真-2 飲食施設，観光案内の「楽市楽座・養老」



写真-3 養老天命反転地

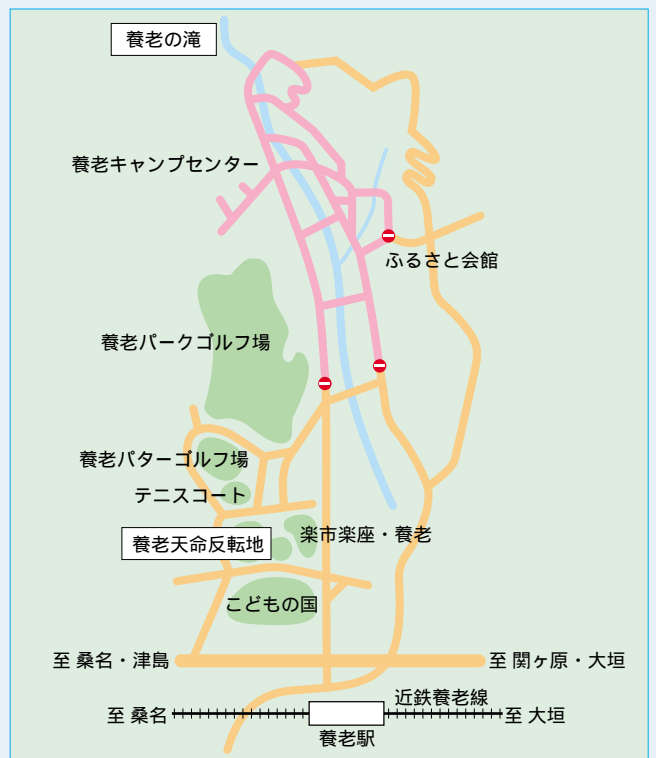


図-1 公園概要図

養老天命反転地について

相手：（財）花の都ぎふ花と緑の推進センター

養老公園事務所 学芸員 平林 恵さん

Q：「養老天命反転地」について教えてください。

A：名古屋出身の荒川修作氏と夫人で詩人のマドリン・キンズの構想による作品で，お二人が長きにわたって構想した「天命反転」を現実のものとなりました。

Q：「天命反転」とはどのようなことですか？

A：天から授かった命がやがて死へ向かうという常識的な概念（天命）をくつがえす（反転）という意です。養老天命反転地のなかには，直線，水平，対称というものほとんどありません。デコボコで不規則に傾斜のついた回遊路を歩き，迷路のような壁に囲まれた室内を手探りで歩くことになります。まるで幼児が歩く状態になることで，常識を取り除くように体験できる場として作られています。

Q：非常に難解なテーマですが，来場者の反応は？

A：開設当時（1995年）はテーマパーク全盛の頃で，定番



写真-4 養老天命反転地の施工状況



写真-5 養老天命反転地の施工状況

のアトラクションがないことへの不満や転びやすい構造が不親切だという声もありました。マスコミの取材でも「何人怪我をしましたか？」と聞かれました。

最近はこの施設がCDジャケットやビデオに利用されたり、音楽雑誌や建築雑誌で取り上げられた影響で、来場者層が全国に拡大し、比較的若い年齢層の来場者が増えています。

Q：本来の芸術作品として認知されてきたということでしょうか？

A：養老天命反転地について、宮崎駿さんや小山田圭吾さんがポジティブなコメントを出したりするなど、認知度が広がったこともあると思います。最近の話題としては、2005年に向けて名古屋で荒川修作さんとマドリン・キンズさんがデザインする集合住宅を造る方針が決まっています。

Q：「養老天命反転地」の入場料は少し高い気がしますが。(大人710円、高校生510円、小・中学生300円)

A：公園の入場料としては高いと感じるかもしれませんが、美術館の入場料相当として設定しています。この入場料は、荒川修作+マドリン・キンズさんの作品が展示されている「奈義町現代美術館」(岡山県奈義町)と同じです。

Q：最後に、読者へのメッセージを。

A：現代美術は難しいと思われるかもしれませんが、「養老天命反転地」が現代美術の入り口になればと思います。体を自由に動かし、子どもに戻った感覚を体験してほしいです。是非一度お越しください。

取材を終えて

岐阜県土木職OBの方々による「県公園セーフティボランティア」の活動は技術継承という側面も感じました。その活

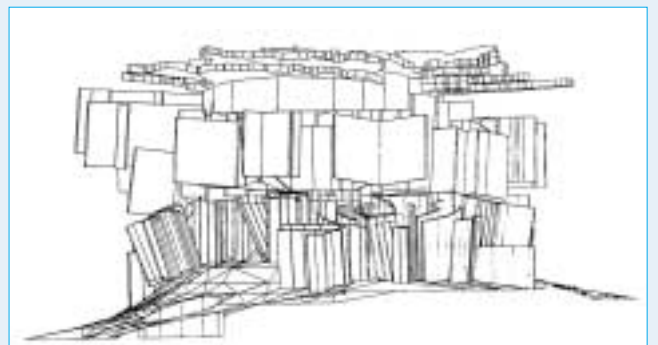


図-2 養老天命反転地のイメージデザイン

動に心からエールを送りたいと思います。

荒川修作さんの公式サイトを覗くと、「養老天命反転地」に行った後は筋肉痛になったという感想が複数あります。美術鑑賞とスポーツジムを同時に体験できる場所かもしれません。

取材当日は雨にもかかわらず快く取材に応じていただき、公園事務所の皆様(特にご担当の大橋さん)ご協力ありがとうございました。(記事：斉藤文彦)

問合せ先

〒503-1267 岐阜県養老郡養老町高林1298-2

(財)花の都ぎふ花と緑の推進センター

養老公園事務所

TEL 0584-32-0501 / FAX 0584-32-4507

<http://www.yoro-park.com/japanese/index.html>